



## 4. 学術手話通訳に対応した通訳者養成研修会

---

2019年12月14日(土)

2019年12月15日(日)

2019年12月22日(日)

2019年12月26日(木)

開催

## 学術手話通訳に対応した通訳者養成研修会

### 講義日程・担当講師紹介

群馬大学にて、地域で活動されている手話通訳者の技術の質の向上を目指し、さらに高等教育機関における聴覚障害学生の手話通訳ニーズへの対応へつなげるため、昨年度に引き続き、学術手話通訳の専門家をお招きし、研修会を開催しました。なお、本研修会は、群馬県との共同事業として開催されました。少人数の講義だったため、きめ細やかな指導が受けられ、受講した通訳者からは大変好評をいただきました。

#### 1. 講義日程

- (1) 12月14日(土) 10時20分～17時30分(90分×4コマ)
- (2) 12月15日(日) 10時20分～17時30分(90分×4コマ)
- (3) 12月22日(日) 12時40分～15時50分(90分×2コマ)
- (4) 12月26日(木) 10時20分～17時30分(90分×4コマ)

#### 2. 担当講師

##### (1) 12月14日(土)

【講師】甲斐 更紗(群馬大学 教育学部 助教) 群馬大学手話サポーター養成プロジェクトのろう重複者支援を担当。専門は臨床心理学、聴覚障害学生支援。ろう学校や地域の学校、情報提供施設、老人ホーム、作業所、知的障害者施設、大学(発達・心理相談室、障害学生支援室)などの臨床現場で聴覚障害児・者への心理的支援に携わってきた。

【講師】大木 洵人氏(株式会社シュアール 代表取締役) 1987年群馬県生まれ。手話通訳士。慶應義塾大学環境情報学部卒。東京大学大学院情報学環教育部修了。聴覚障害者と聴者が本当の意味で対等な社会を目指し、大学2年生だった2008年に「シュアール」を創業。

【講師】今井 ミカ氏(特定非営利活動法人シュアール 理事長) 1988年群馬県生まれ。和光大学表現学部卒。香港中文大学手話言語学&ろう者学研究センター研究生として留学。小学6年の頃からホームビデオカメラでろう者の弟と一緒に映像・映画を制作し始め、現在、JSLTIME 代表としてろうの映像作家・映画監督として活動する。新作は、ろう×LGBTQ「虹色の朝が来るまで」。

##### (2) 12月15日(日)

【講師】白澤 麻弓氏(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 准教授) 主著『日本語-手話同時通訳の評価に関する研究』風間書房。日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan) 事務局長として、全国の聴覚障害学生支援をリードしている。

##### (3) 12月22日(日)

【講師】能美 由希子(群馬大学 教育学部 助教) 群馬大学手話サポーター養成プロジェクトの手話習得および手話通訳養成の授業を担当。また、日本手話通訳士協会政見放送研修会実技講師。情報提供施設の手話通訳コーディネータとして勤務した経験もあり、手話通訳の養成派遣・現任研修等についての幅広い実践を行っている。

##### (4) 12月26日(木)

【講師】中野 聡子氏(大阪大学 キャンパスライフ健康支援センター 相談支援部門 講師) 主著に『大人の手話 子どもの手話 -手話にみる空間認知の発達-』(明石書店) など。学術手話通訳研究の第一人者。2019年6月に Web サイト「オンライン学術手話通訳教材集」を制作・公開。<https://sl-interpreting.org/>

## 令元年度「学術手話通訳に対応した通訳者養成研修会」アンケート結果表

回収率：56.3%（受講者のべ 16人、回答者 9人）

### 1. 年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
0人	0人	3人	3人	1人	2人	0人	0人	9人
0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	100%

### 2. 過去の受講の有無

有	無	無回答	合計
2人	7人	0人	9人
22.2%	77.8%	0.0%	100%

### 3. 本研修会を何で知りましたか（複数回答可）

チラシ	インターネット（HP・Facebook等）	友人・知人	その他	無回答	合計
4人	4人	1人	0人	0人	9人
44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	100%

### 4. 通訳派遣頻度

0回/週	0.5回/週	3~4回/週	5回/週	7回/週以上	無回答	合計
0人	1人	7人	0人	0人	1人	9人
0.0%	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%	11.1%	100%

### 5. 手話通訳士資格の有無

有	無	無回答	合計
8人	1人	0人	9人
88.9%	11.1%	0.0%	100%

### 6. 大学の授業での手話通訳経験について

有	無	無回答	合計
5人	4人	0人	9人
55.6%	44.4%	0.0%	100%

### 7. 研修会の内容は理解出来ましたか

理解できた	ある程度理解できた	理解できなかった	無回答	合計
7人	2人	0人	0人	9人
77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	100%

### 8. 本研修会に関して、ご意見・ご要望等ございましたらご記入下さい。

- ・とても良いテーマで勉強になりました。今後も機会があればぜひ参加したいです。
- ・通訳の配慮ありがとうございました。
- ・非常に有意義な研修でした。大切な内容をろうの先生から学ぶ事ができて嬉しいです。ありがとうございました。
- ・毎年開催される場合、内容について変化したり新たなものかなど、事前に分かりましたら教えて頂きたい。
- ・同じ内容でも再度参加させて頂きたいという場合もあると思います。よろしくお願い致します。
- ・Googleフォームで申し込みをしましたが、リターンメールが来ませんでした。チェックボックスがなかったような？（見落としでしたらすみません）
- ・受講決定のお知らせが特になかったので、来て大丈夫かどうか心配しながら来てしまいました。事前にお尋ねすれば良かったですね。
- ・FAXの返信、学内・構内の地図が欲しい。チラシに駐車場の記載が欲しい。
- ・具体的な内容で良かったです。日本手話を身につけられるとよいと思いました。（事前準備のことは違いますが…）
- ・要約のポイントと共通するところがあると感じました。少しでも前進できるよう実際に活用させていただきます。
- ・少人数だったので、きめ細かく毎回指導して頂きました。ありがとうございました。

令和元年度

# 「学術手話通訳に対応した通訳者養成研修会」

## のお知らせ

令和元年

12月14日(土)・15日(日)・22日(日)・26日(木)

群馬大学 荒牧キャンパス  
教育学部 B棟 102教室

(〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4-2)

群馬大学では、平成29年度から日本財団から助成を受け、群馬県との共同事業として「学術手話通訳に対応した通訳者の養成」事業を始めています。令和元年度からは事業内容を拡大し、「学術手話通訳に対応した専門支援者の養成」事業へ名称変更いたしました。

本事業の一環として、群馬大学にて地域で活動されている手話通訳者の技術の質の向上を目指し、さらに高等教育機関における聴覚障害学生の手話通訳ニーズへの対応へつなげるため、昨年度と同様、学術手話通訳の専門家をお招きし、研修会を開催します。この機会にぜひご参加下さい。

12月14日(土) ※90分×4コマ

「日本語が不得手な聾者への通訳」 講師：甲斐更紗(群馬大学 教育学部 助教)

講師紹介 群馬大学手話サポーター養成プロジェクトのろう重複者支援を担当。専門は臨床心理学、聴覚障害学生支援。ろう学校や地域の学校、情報提供施設、老人ホーム、作業所、知的障害者施設、大学(発達・心理相談室、障害学生支援室)などの臨床現場で聴覚障害児・者への心理的支援に携わってきた。

ひとこと とてもそっかしく、いつもあたふたしています。ということで、群馬の「サザエさん」を目指します!

「電話リレーサービスの現状と課題、喫緊の検討課題としての「守秘義務」再考」

講師：大木洵人氏(株式会社シュアール 代表取締役)・今井ミカ氏(特定非営利活動法人シュアール 理事長)

講師紹介 大木洵人氏 1987年群馬県生まれ。手話通訳士。慶應義塾大学環境情報学部卒。東京大学大学院情報学環教育部修了。聴覚障害者と聴者が本当の意味で対等な社会を目指し、大学2年生だった2008年に「シュアール」を創業。

ひとこと 自宅で70cmのぐんまちゃんのぬいぐるみを2体所有。

講師紹介 今井ミカ氏 1988年群馬県生まれ。和光大学表現学部卒。香港中文大学手話言語学&ろう者学学術センター研究生として留学。小学6年の頃からホームビデオカメラでろう者の弟と一緒に映像・映画を制作し始め、現在、JSLTIME代表としてろうの映像作家・映画監督として活動する。新作は、ろう×LGBTQ「虹色の朝が来るまで」。

ひとこと 群馬好きで、都内でも群馬の文字によく気がきます。「群馬」には目が高いです。

12月15日(日) ※90分×4コマ

「事前資料の読み方、大学の手話通訳とは」 講師：白澤麻弓氏(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 准教授)

講師紹介 主著『日本語-手話同時通訳の評価に関する研究』風間書房。

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)事務局長として、全国の聴覚障害学生支援をリードしている。

ひとこと 仕事帰りに毎日ジムで筋トレしています。

12月22日(日) ※90分×2コマ

「通訳事例検討(手話通訳者倫理綱領を読む)」 講師：能美由希子(群馬大学 教育学部 助教)

講師紹介 群馬大学手話サポーター養成プロジェクトの手話習得および手話通訳養成の授業を担当。また、日本手話通訳士協会政見放送研修会実技講師。

情報提供施設の手話通訳コーディネータとして勤務した経験もあり、手話通訳の養成派遣・現任研修等についての幅広い実践を行っている。

ひとこと ナビアプリに頼らずに道に迷ってから、自分が方向音痴だったことを思い出す。

12月26日(木) ※90分×4コマ

「学術手話通訳とは」 講師：中野聡子氏(大阪大学 キャンパスライフ健康支援センター 相談支援部門 講師)

講師紹介 注著に『大人の手話 子どもの手話 -手話にみる空間認知の発達-』(明石書店)など。学術手話通訳研究の第一人者。

2019年6月にWebサイト「オンライン学術手話通訳教材集」を制作・公開。https://sl-interpreting.org/

ひとこと 「プレバト俳句」が大好きです!ことばで無駄なく映像豊かに表現するって難しいなと。

※詳しい時間帯については裏面をご覧ください

【対象者】群馬県登録手話通訳者

【定員】25名(応募者多数の場合は先着順とさせていただきます)

【申込方法】お申込みフォーム(<https://forms.gle/NFaVmXPkzfiKgPYt5>)または

FAX(裏面送信票)にてお申込み下さい。

【申込締め切り】令和元年11月29日(金)



主催：群馬大学 共催：群馬県 助成：日本財団



【講義スケジュール】

	講師名 (敬称略)	8:40	10:20	12:40	14:20	16:00
		-10:10	-11:50	-14:10	-15:50	-17:30
12月14日(土)	甲斐		●	●		
	大木・今井				●	●
12月15日(日)	白澤		●	●	●	●
12月22日(日)	能美			●	●	
12月26日(木)	中野		●	●	●	●

※全日程参加が望ましいですが、1日間のみの参加でも構いません。

※ただし、講義が始まったあとの途中入室・途中退室はお控えください。

令和元年度

「学術手話通訳に対応した通訳者養成研修会」  
(FAX 送信票)

お申込日 年 月 日

フリガナ					
氏名					
お住まいの地域	市・町・村				
連絡先	TEL		FAX		
	E-Mail				
手話通訳歴	約 年				
参加希望日	<input type="checkbox"/> 全日程 (4日間)	<input type="checkbox"/> 12/14(土)	<input type="checkbox"/> 12/15(日)	<input type="checkbox"/> 12/22(日)	<input type="checkbox"/> 12/26(木)

上記のとおり、令和元年度「学術手話通訳に対応した通訳者養成研修会」に申込みます。

<FAX 送信先>

群馬大学 手話サポーター養成プロジェクト室

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4-2 群馬大学荒牧キャンパス教育学部 B 棟 106 教室  
TEL : 027-220-7243 FAX : 027-220-7365 E-Mail : SLSDP@jimu.gunma-u.ac.jp  
<https://sign.hess.gunma-u.ac.jp/>

※お問い合わせは出来るだけメールまたは FAX でお願いいたします。



5. 群馬大学 手話で学ぶ公開講座  
「ろう者が拓く、ろう重複者支援」

---

2020年2月15日(土) 開催



# ろう重複障害者との コミュニケーション形成で 大切なこと ～心理臨床の視点から～

群馬大学  
手話サポーター養成プロジェクト室  
教育学部

甲斐更紗 (かいさらさ)

1

## 今日の内容

### 内容

1. さまざまな物語
2. 心理臨床における係わり
3. Caseを通して Case 1  
Case 2
4. おわりに

2

### 1. さまざまな物語

## 精神障害がある方々の パラレルワールド

(写真)  
当日提示

(写真)  
当日提示

### 1. さまざまな物語

## 彼らを感じたことなどが 物語となってくる

・東京の世田谷にある就労継続支援B型事業所  
ハーマニーの作品「新・幻聴妄想かるた」

- ・自らの幻聴や妄想の体験をもとにして  
つくられた。
- ・メンバーミーティングで語られるひとり  
ひとりの近況報告や苦労話などを題材として、  
字札を作り、みんなで絵を描いた。

4

## 主人公になれない自分

- ・途中の経過が分からなまま処理してきた苦しみ
- ・突然の感情の爆発

- ・自分の気持ちや自分が体験したことを他者に話す経験がない
- ・自分がこれまで過ごしてきたものに対して意味があると認識していない

## 抱えている「生きづらさ」の理解

- ・その人固有の「生きづらさ」

- ・仮説的理解 (永石, 2007)
  - 毎回修正を繰り返していく・重ねていく。
- ・観察し、考えて、それに基づいて反応するという営みの連続過程 (村瀬, 2015)

## 物語を描くこと

- ・物語の「仮」構築・「再」構築
  - クライエントにあらわれていることをそのまま受けとめて想像を巡らす・尋ねる。
  - クライエント全体像を描いていく。

・支援者(セラピスト)は同時に自分の内面に生起する感情や思考内容を自覚していき・考えていく。

## 3. Caseを通して

紹介するケースは  
守秘のため本質をそこなわない範囲で  
いくつかのケースを合成した  
フィクションケースとしている。

## Case1:背景

- 当日提示

9

## Case1

- 何らかの表出・動きをキャッチし、想像・確認することの繰り返し

Aさんの表出・動き

自分（セラピスト）とのコミュニケーション（受けとめて）対応していく（受け手効果）  
（意味が一致したかどうかは「？」である）

あれ？もしかしたら私たちがより雰囲気や情動的な動きに「敏感？」

- それぞれの視線が向き合っていく  
感じ取りながら関係性が作られる  
（浜田,1995；田中,2001）

10

## Case2:背景

- 当日提示

11

## Case2

職場におけるASD (PDD) 者の精神行動特性 (広沢,2015)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人の気持ちを察めない	場の空気を察めない	服装のルールがわからない	気持ちが自然に表し過ぎる	自分というものがわからない	言っていることがよくわからない	きわめて不器用	応用が利きにくい (経験化不全)	機械のような人	きわめて遅い
周囲からの印象 (異様)	「人老いとも思われない」「無骨のようだ」	「気が利かない」「威嚇つけない」「服装をダイレクトに悪いと感じる」	「自己派」	「周囲の呼吸が感じない」「理解つぼい・理詰め」	「ただいだけの人」「日和風」	「ITとつめて」	「不器用」	「何」	「遅い」

結果だけではなく  
プロセスもみて  
いくこと

12

## Case2

- ・整っているようで、ごちゃごちゃに積み重ねられた「話」



具体的な物事を通じた  
リフレクシオン

セラピストである  
ろう者が関わる  
ことの強み



- ・再構築されていく物語

13

## 4.おわりに

# 私たちは常に試されている

臨床スーパバイザーから  
言われた言葉

## 仮説は物語を紡いでいく

- ・臨床スーパバイザーから言われた言葉
- ・「聴覚障害と他の障害を併せ持つためにコミュニケーションに困難を抱える障害児・者に対する支援の質の向上のための検討」成果報告書p.121の片言和彦先生(2019)のコラムより

## 4.おわりに

## 参考文献

- ・ 浜田寿美男 (1995) 「私」というものなりたち、ミネルヴァ書房。
- ・ 藤岡峻 (1997) 原初的コミュニケーションの諸相、ミネルヴァ書房。
- ・ 河崎佳子 (1999) 不就学層青年との定期的継続面接の試みⅡ-関係としてのコミュニケーションの発達-、佛教大学教育学部論集 10;111-127。
- ・ 田中真理 (2001) 知的障害者の物語伝達場面におけるメタコミュニケーション、教育心理学研究 49;427-437。
- ・ 永石晃 (2007) 重複聴覚障害をかかえる子どもたちのそだち、育ちの科学 9;115-121。
- ・ 広沢正孝 (2015) おとなの発達障害とその支援、そだちの科学 24;87-91。
- ・ 村瀬麗代子 (2015) 心理療育の気づきと想像生活を視野に入れた心理臨床、臨床場面に於ける気づきと想像-焦点と多焦点化、不変と個別-、金剛出版、pp.31-40。
- ・ 片倉和彦 (2019) 「聴覚障害と他の障害を併せ持つためにコミュニケーションに困難を抱える障害児・者に対する支援の質の向上のための検討」成果報告書、pp.121。

16

群馬大学 手話で学ぶ公開講座「ろう者が拓く、ろう重複者支援」  
**発達理論からみるろう重複の様相**

群馬大学  
 教育学部障害児教育講座  
 日本財団事業手話サポーター養成プロジェクト室  
 准教授 中野 聡子

2020.2.15 群馬大学荒牧キャンパス

**本日のトピックス**

1. ろう重複児者の支援になぜ発達理論が必要なのか
2. 聴覚障害と××障害  
—言語コミュニケーション発達に及ぼす影響を考える—
3. 聴覚障害とASDを併せ持つ子どもの手話言語発達

1. ろう重複児者の支援になぜ発達理論が必要なのか

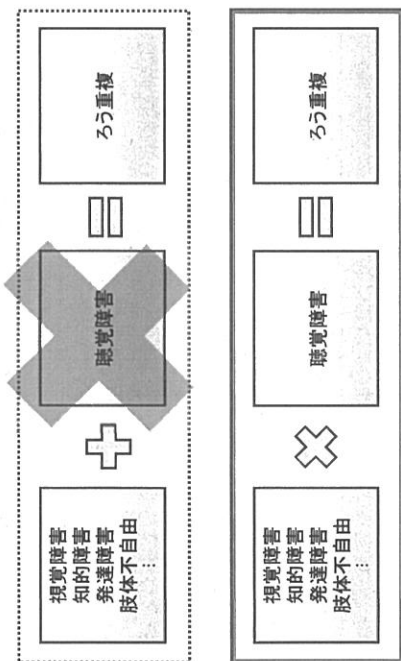
**ろう重複児の出現率**

聴覚障害児の20～40%に重複障害があると推計  
 (Holden-Pitt & Diaz, 1998)

視覚的問題	4%
知的問題	8%
情緒的または行動上の問題	4%
学習上の問題	9%

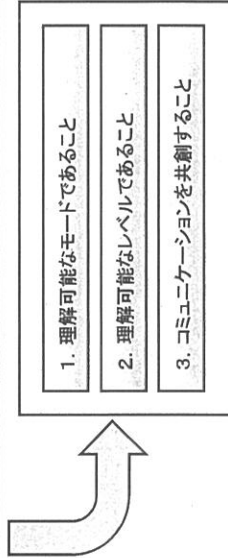
- 盲ろうは後天的に二重複となる割合が高いので、年齢とともに増加する。
- 聴覚障害児は聴覚に比べて発達障害の出現率が高いと言われている。
- ろう重複はアセスメントの難しさもあり、実際にはもっと出現率が高いと見積もられている。

## ろう重複とは



## 発達・コミュニケーション支援の絶対条件

ろう重複児・者との「コミュニケーション」が成立すること  
 =コミュニケーションはすべての発達の基礎！  
 =言語・コミュニケーション刺激、人との関わりがなければ発達は停滞/後退する



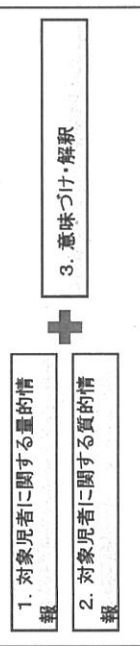
⇒ 支援者がそのようなコミュニケーションができるようにするために必要なスキルは…？

## アセスメント(実態把握)の重要性(1)

### 適切なアセスメント

=ろう重複児・者との関わり、教育、指導、支援の計画を立てるうえでの前提条件

【アセスメントとは】



藤田(2004)をもとに中野作成

## アセスメント(実態把握)の重要性(2)

### 【アセスメントの方法】

- ① 面接法 (...質的情報)  
保護者や本人、関係者からの情報収集
- ② 行動観察法 (...質的情報)  
対象児・者の行動の観察・分析=観察の視点を明確に！
- ③ 検査法 (...量的情報)  
標準化された検査による、障害の状態及び発達段階や特性の測定

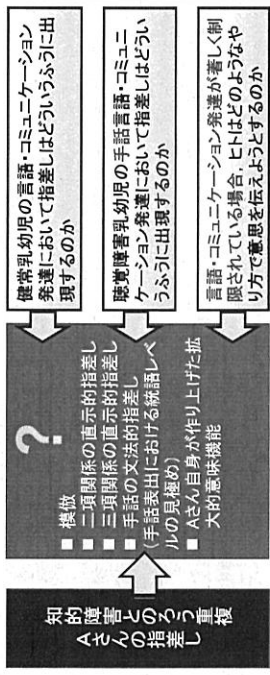
- 各種発達検査や知能検査などの心理検査のほとんどは、健常児・者の測定データで標準化されたもの  
例)ウエクスラー式知能検査の言語理解に關わる下位項目
- 重度・重複障害児者は、「測定不能」となってしまうことも

⇒系統たった観察法によるアセスメントに頼らざるをえない！

## ろう重複のアセッサーに必要なスキル

- 対象児者にとって、もともと意思疎通しやすいコミュニケーション方法に堪能であること
- 多くの専門分野の観点による総合的アセスメント(知覚・認知・言語・行動)ができること
  - > 特に、言語・コミュニケーション発達に関するアセスメントには、健常児の(言語)発達、聴覚障害その他の障害の(言語)発達、手話言語発達、語用論などの知識が必要
  - > 上記の知識をもとに、鋭く、適切な「観察」が行えること
  - > 自発的「発話」の乏しい対象児者に適切な介入的アプローチをとれること

## 例1) 指差し



## ことばと認知の発達(1)

年齢	ことばの理解	ことばの発音	コミュニケーション・発話	遊び・根本
1歳	1歳児の理解 1歳児の理解 1歳児の理解 1歳児の理解	1歳児の発音 1歳児の発音 1歳児の発音 1歳児の発音	1歳児のコミュニケーション・発話 1歳児のコミュニケーション・発話 1歳児のコミュニケーション・発話 1歳児のコミュニケーション・発話	1歳児の遊び・根本 1歳児の遊び・根本 1歳児の遊び・根本 1歳児の遊び・根本
2歳	2歳児の理解 2歳児の理解 2歳児の理解 2歳児の理解	2歳児の発音 2歳児の発音 2歳児の発音 2歳児の発音	2歳児のコミュニケーション・発話 2歳児のコミュニケーション・発話 2歳児のコミュニケーション・発話 2歳児のコミュニケーション・発話	2歳児の遊び・根本 2歳児の遊び・根本 2歳児の遊び・根本 2歳児の遊び・根本
3-4歳	3-4歳児の理解 3-4歳児の理解 3-4歳児の理解 3-4歳児の理解	3-4歳児の発音 3-4歳児の発音 3-4歳児の発音 3-4歳児の発音	3-4歳児のコミュニケーション・発話 3-4歳児のコミュニケーション・発話 3-4歳児のコミュニケーション・発話 3-4歳児のコミュニケーション・発話	3-4歳児の遊び・根本 3-4歳児の遊び・根本 3-4歳児の遊び・根本 3-4歳児の遊び・根本
5-6歳	5-6歳児の理解 5-6歳児の理解 5-6歳児の理解 5-6歳児の理解	5-6歳児の発音 5-6歳児の発音 5-6歳児の発音 5-6歳児の発音	5-6歳児のコミュニケーション・発話 5-6歳児のコミュニケーション・発話 5-6歳児のコミュニケーション・発話 5-6歳児のコミュニケーション・発話	5-6歳児の遊び・根本 5-6歳児の遊び・根本 5-6歳児の遊び・根本 5-6歳児の遊び・根本

ワクワク育児支援 <http://one-opn-fuji.com/2019/11/28/ことばの発達段階/>

## ことばと認知の発達(2)



<https://chiik.jp/articles/7H8T>

Chiiki

## ことばと認知の発達(3)

### ピアジェの「認知発達理論」4つの発達段階

- ・5歳の前後から6歳まで、図形・距離を目的とする。
- ・周囲の物事を対象として「数量と自分の位置」「6000形・図形」「物事を分類する」ことを習得していく。

1. 感覚運動期
2. 前操作期
3. 具体運算期
4. 形式運算期

- ・言語機能・運動機能ともに発達が進み、物事を自分のイメージを使って区別して認識できるようになる。
- ・共感力などは未発達で自己中心の思考・行動になる。

1. 自己中心性
2. 保存性の未発達
3. アイニズムの傾向

- ・論理的思考力が発達し、相手の気持ちを考えたり察知・察知できるようになる。
- ・自分の感情を理解し、長さ・距離などは可視的に理解できる。

1. 保存性の獲得
2. 自己中心性

- ・論理的思考ができるようになる。
- ・図形・距離などから身体イメージを描くことができる。
- ・知識・経験を認識し、仮説を立て、知識を予測して行動・発達できる。

1. 形式運算期

成長段階は個人差はあるもの。目安である！

Chitki

<https://chitki.jp/articles/7H8RT>

## 例2) 手話の動きのぎこちなさ

軽度の視覚・知的障害・発達障害からくる視知覚・認知の問題  
Bさんにみられる手話の動きのぎこちなさ

【知覚・認知】

【運動】

【言語】

視覚障害・知的障害・発達障害からくる視知覚・認知の問題？

知的障害や発達障害にみられる発達性協調運動障害？

肢体不自由による中枢神経系や筋の問題からくる運動障害？

手話言語運用力の問題？

## 視覚障害×聴覚障害

- (1) 視力障害
- (2) 視野障害: 視野の中に見えない箇所がある。視野の右半分が見えなくなるなど
- (3) 光覚異常: 夜盲、羞明、順応異常など
- (4) 色覚異常: 特定の色の区別ができない、色の見え方が異なるなど
- (5) 両眼視の異常: ものが二重に見える、立体感や遠近感が捉えづら
- (6) 眼球運動の異常: 注視が難しい

盲	視覚的な情報を全く/ほとんど得られない。早期失明の場合は点字を利用することが多い。
弱視	視力は矯正しても概ね0.3未満。残存視力を活用。曇字にアクセス可能。白杖を利用しない人も多い。

## 2. 聴覚障害と××障害 一言語コミュニケーション発達に及ぼす影響を考え



## 視覚障害 × 聴覚障害

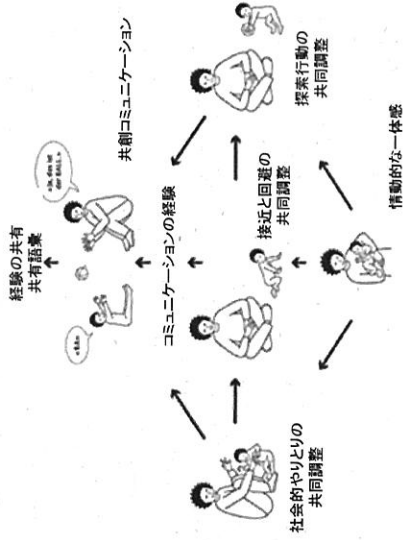
【視覚障害が発達に及ぼす影響】

- 行動の制限
- 視覚的情報の欠如
- 視覚的模倣の欠如
- 視覚障害児に対する社会の態度 (五十嵐, 1993)

【先天性盲ろう児の発達上のバリア】

- <学習>
- ✓ モデリング
  - ✓ 模倣
  - ✓ 偶発学習
- が難しい ⇒ 学習の困難
- <適切な介入がないと...>
- ✓ 自己刺激的行動の増加
  - ✓ 探索的行動の欠如
  - ✓ 他者との感情や気持ちの共有の欠如
  - ✓ 他者との関わり意欲の欠如

## 共創コミュニケーションモデル



共創コミュニケーションモデル (Natstad & Rodbroe, 1999)

## 共創コミュニケーションモデル(2)

- I. 共創された挨拶行動の儀式を伴う接近一回避の行動(共同調整)
- II. 探索の企てとその展開(共同調整)
- III. 社会的相互行為の共創における動きと感情(共同調整)
- IV. 共同調整されたコミュニケーションの展開における語彙と意味の共創

## 知的障害 × 聴覚障害

【DSM-5による知的障害の診断基準】

基準A	標準化された知能検査によって確かめられる「論理的思考」「問題解決」「計画」「抽象的思考」「判断」「学校での学習」「経験からの学習」などの知的機能が欠如していること
基準B	適応機能の欠如により、学校、職場、家庭、地域社会のなかのの一つ以上の生活状況において、適切な行動をとるために継続的な支援を必要とすること
基準C	知的及び適応の欠如が、幼少期から青年期にかけて発症していること

【DSM-5による適応状況の基準】

概念的領域 等	読み、書き、計算、記憶、実用的な知識、新しい場面状況での課題の解決
社会的領域	対人的コミュニケーション技能、言語理解、言語表出、他者との共有
実用的領域	買入物、食事、金銭管理、健康管理、移動、子育て等

**原因や程度が異なるが  
聴覚障害児が有する発達上の困難と共通点も多いことに注目！**

【DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル】(2014)より齋藤孝紀氏作成

## 知的障害×聴覚障害

- 手話を使用すれば「問題解決」できるとは限らない
  - 手話を「どう使うか」が問題
  - 本人にとっても理解しやすい、あるいは伝達しやすい手段の再検討(複数手段の組み合わせも含めて)
  - 使用するサインの統一化
- 目標設定は、コミュニケーションなのか言語獲得なのか？ 言語獲得だとしたら、どの言語レベルなのか？
- ことばの受容と表出が非対称であることに注目
- コミュニケーションの相互関係を成立させる支援者としての関わり、姿勢、ことばのかけ方
  - 対象児者がメッセージを適切に受け止め、理解し、サインが産出できるように
  - 例) インリアル・アプローチ

23

## インリアル・アプローチとは

### インリアル(INREAL) :

#### Inter Reactive Learning and Communication

- 言語発達に遅れがある子どものための言語・コミュニケーション・アプローチ。
- コミュニケーションは、話し手と聞き手相互の協力や作用があって成立する
- ならば、対象児の言語・コミュニケーションへのアプローチには、援助者である大人のコミュニケーション的関わりにも目を向ける必要があるのではないか
- 子どもと大人が相互に反応し合うことで、学習とコミュニケーションを促進されるのではないか。
- 1974年に米コロラド大学のWeiss博士らによって開発

22

## インリアル・アプローチの特徴

- 1) 言葉の遅れのある子どもをコミュニケーション障害児として捉える。
- 2) 話し言葉だけでなく視線、表情、身振り等の非言語行動もコミュニケーション行動として捉える。
- 3) 子どもは、コミュニケーションの楽しさを経験することで、潜在能力を十分に発揮できるようになる。
- 4) 言葉の表象機能だけでなく、ヒトとの相互作用の媒体として持つ伝達機能も重視する。
- 5) コミュニケーションの成立には、問題をもつ子どもだけではなく、もう一方の担い手である大人の要因も相互客観的に評価する。

24

## コミュニケーションの原則

- 1) 子どもの発達レベルに合わせる
- 2) 会話や遊びの主導権を子どもに持たせる
- 3) 相手が始められるように待ち時間をとる
- 4) 子どものリズムに合わせて
- 5) ターン・テークキング(やりとり)を行う
- 6) 会話や遊びを共有し、コミュニケーションを楽しむ

## SOUL(ソウル)ー大人のとりべき基本姿勢ー

Silence	静かに見守る	子どもが場面になれ、自分から行動が始められるまで静かに見守る。
Observation	よく観察する	何を考え、何をしているのか、よく観察する。コミュニケーション能力、情緒、社会性、認知、運動などについて能力や状態を観察する。
Understanding	深く理解する	観察し、感じたことから子どもとのコミュニケーションの問題について理解し、何が援助できるか考える。
Listening	耳を傾ける	子どものことばやそれ以外のサインに十分に耳を傾ける。

## 発達障害 × 聴覚障害

### 【発達障害とは】



## 発達障害 × 聴覚障害

- 聴覚障害による発達の遅れを知的障害や学習障害と見誤ってしまうことも…ろう重聴の場合、原因背景を区別するのは困難なことも
- 自閉症スペクトラムとの重複は、言語獲得の遅れ、ことばの使用における独特さ、社会的関係成立の難しさ、複雑的な困難につながりやすい
  - ろう学校に在籍する手話使用のASD児2名の談話分析(堀口, 2014)
    - ✓ 手型があまり動かない
    - ✓ 主語や接続詞が少ない
    - ✓ 心的状況を表わす表現が少ない
    - ✓ 談話材料の心づもりが困難
    - ✓ 質問の内容の理解困難→適切な内容の表出ができない、関係のない内容を表出する
- 言語面に困難をもつ学習障害との重複では、聴覚障害の単一障害児にもみられる語彙の意味ネットワーク構築の弱さがさらに強く現れるのではないかと推定(大鹿, 2016)

## 自閉症スペクトラム障害(ASD)

### 自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder)

1. 社会性の障害(対人関係)
2. 言語コミュニケーションの障害(言語機能・語用論)
3. 想像力の障害とこだわり行動・常同行動

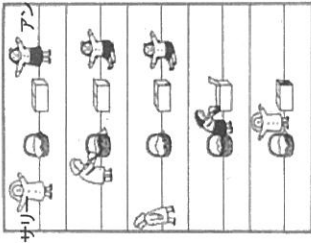
(Wing, 1996)

- これらの症状は発達初期に存在
- 中世神経に何らかの要因があると推定
- 自閉症に関連する障害:広汎性発達障害, アスペルガー障害(症候群), 高機能自閉症, カナー自閉症など

## 心の理論

### 心の理論とは

- 他者に「心」というものがあるとみなす
- 他者の心の状態(信念、目的、意図、記憶、希望、志向、疑念など)を推測する機能



部屋に戻ってきたサリーは、おぼじきは、かごと箱のどっちかと思って探すでしょうか？

【定型発達の場合は…】

- 3歳未満の子どもは実際におぼじきが置かれている「箱」と答えてしまう
- 4～7歳にかけて正答(「かご」)率は上昇、6歳ごろには多数の子どもが正答できる

心の理論の「リトマス試験紙」と言われる『サリー-アン課題』(Baron-Cohen, 1989)

## 聴覚障害児の心の理論の発達

聴者の家庭で育つ重度の聴覚障害児は、正常な知的発達であっても、誤信念の理解の発達に、聴覚に数年の遅れをとることがある

(Peterson Siegal, 1995など)

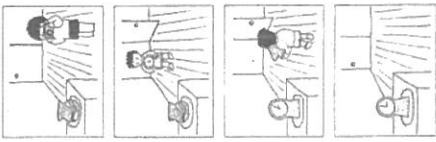
ところが、誤写真課題であると、誤信念課題よりも理解成績が高い

=聞えるASD児も同じ傾向を持つ

(Peterson Siegal, 1998)

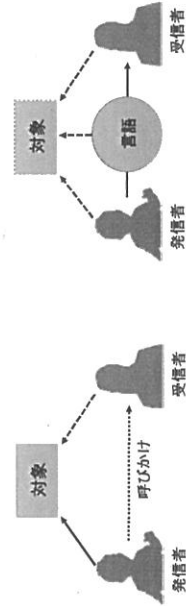
(ASD児も聴覚障害児も)  
目に見えない物事が理解できないのではなく、  
他者の心を理解するのが困難ということ

誤写真課題(子安, 2001)



## 共同注意の困難

- 共同注意: 他者と関心を共有する事物に注意を向けるように行動を調整する能力
- 共同注意は、コミュニケーション、認知発達、言語発達の基盤
- ASD児では、「共同注意の困難=三項関係的コミュニケーション成立の困難」がみられる。⇒ 言語習得の遅れ



## 3. 聴覚障害とASDを併せ持つ子どもの手話言語発達

## 顔に対する注視

- 定型発達児は顔全体を注視するが、ASD児は口への注視が多い傾向 (Joseph & Tanaka, 2003)
- D-ASD児、アイコンタクトがとりにくい (Poizner et al, 1987)、疑問形の顔のマーカ―が性格に表出できない (Smith et al, 2011; Shield 2010)

まぶたの開きや視線によって表すNIMの習得が難しい

WH疑問文 例:「それは何ですか?」

群馬大学手話サポーター養成プロジェクト「型」やってみよう日本手話 話1 試作版Ver.2より引用

視線が口へ注視し、まぶたの開きや視線によって表すNIMの習得が難しい。

## エコラリア

### ASD児にみられるエコラリアとは

- ・ 即時もしくは遅れて他者の発音をオウム返しで繰り返すこと。
- ・ ASD児の85%にエコラリアがみられる (Schuler & Prizant, 1985)
- ・ 前言語期から言語獲得期にかけてよくみられる。
- ・ 定型発達児の言語発達上でみられる「発達のオウム返し」「模唱」とは区別される。

即時型	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 即時型エコラリアのある子どもは自発的なことばの出現が早い</li> <li>■ 抑揚の単調さは基本的信頼をおく他者との情動的交流、子どもの主体性を尊重する関わりにより消失してゆく</li> </ul>
遅延型	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 独り言(自己内対話)につながっていく</li> <li>■ エコラリアに含まれる意味や伝達意図が他者に理解されることによって、他者の言葉の取り込みが始まり、語彙の増加や語連鎖につながっていく</li> </ul>

(小川, 2004をもとに作成)

## エコラリア

### D-ASD児のエコラリアの事例

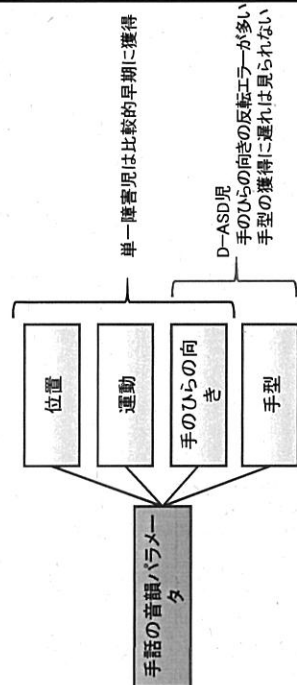
(Poizner et al, 1987)

- ・ ろう両親をもつD-ASDネイティブサイナー
- ・ 21歳になっても家族との会話のほとんどをエコラリアによって応答

この事例が、手話の形態論もしくは統語論の文法的知識を習得しているとは考えられにくい

## 視点取得の困難による影響(1)

### 手話単語表出における反転エラー



## 視点取得の困難による影響 (2)

### 代名詞の表出エラー

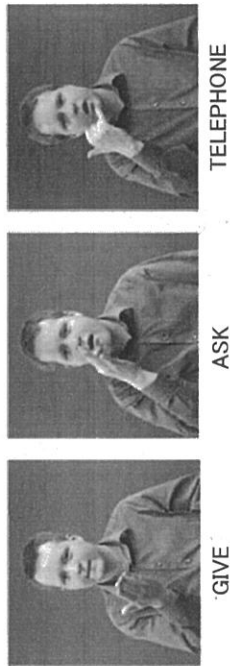
- ASD児では、1人称「私」と2人称「あなた」の反転エラーがよくみられる (Lee et al, 1994)。
- 定型発達の子供も、発達途上における一過性の現象 (Petitto, 1987)。
- D-ASD児では、下記のような事例もあり (Shield, 2010)
  - > 「私」を素手指差しを使用せず、自分のサインネームで表す
  - > 人に言及するとき指差しを全く使用しない



ラウラが手を切ったのを見て… (母親に向かって) 「あなたを指差す」  
単一障害児ケイトの3人称代名詞の使用エラー (Petitto, 1987)

## 視点取得の困難による影響 (3)

D-ASD児において動きの方向のエラーが生じやすい屈折動詞の例 (イギリス手話)



## 視点取得の困難による影響 (3)

### 屈折動詞の方向エラー

手話言語の形態統語論的知識を有しているにも関わらず、屈折動詞の動きの方向を正しく表出できないD-ASD児の事例

【正】<sup>1</sup>HELP<sub>1</sub> 肩上げ 「手伝ってくださいますか？」

と表すべきところを、あるD-ASD児は…

【誤】<sup>1</sup>HELP<sub>2</sub> 「はい、手伝います」

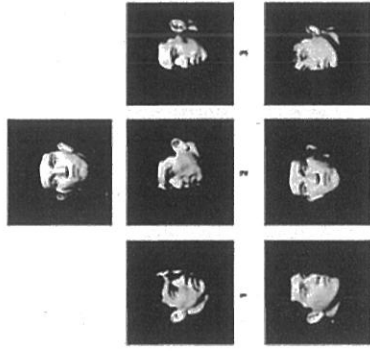


イギリス手話のHELP

## 高機能D-ASD児の非手指表現の理解 (1)

- 定型発達の聴覚障害児との間に顕著な成績の差は見られない
- ただし、顔の表情で表された感情を理解することに関しては、成績が低かった

(Denmark, 2011)



ペントン顔認識テスト(1983)の断片例

## 高機能D-ASD児の非手指表現の理解(2)

否定・疑問のNMの理解・表出	定型発達の子と顕著な差はみられない
副詞の理解・表出	定型発達の聴覚障害児より有意に低い

※ 理解については、手指サインを伴わない顔のマーカで有意に低い (Denmark, 2011)

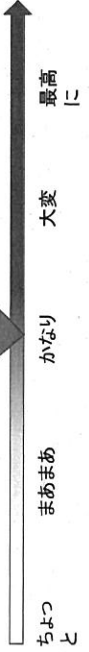
高機能ASD児がここまで顔の弁別や顔で表す手話の文法を習得できたのは、手話言語を使用する環境であったことが影響している？

副詞については、言葉の意味的に感情が含まれることがあるから？



## 高機能D-ASD児の非手指表現の理解(2)

### 副詞的NMの例



岡・赤坂(2011)をもとに中野作成

## まとめ

- 聴者の家庭に育った聴覚障害児に「心の理論」の発達の遅れが見られる
  - > 言語発達と社会スキルの発達が密接に関連
  - > コミュニケーションの物理的困難が障害の重症化につながる可能性があるようにするために手話によるコミュニケーションが有効
- 手話によるコミュニケーション・指導が(聴覚障害の有無に関わらず) ASDを有する子どもに言語習得にとって音声言語以上の成果をあげるとは言い切れない
  - > 言語が社会的相互作用を介して習得されるのは視覚言語である手話も同じ
  - > ASDにおける対人関係の困難は、言語機能や語用論的なスキルの習得の障壁に

## <引用・参考文献(1)>

- Baron-Cohen, S., Eselin, D. A., & Crowson, M. Do Children with Autism Use the Speaker's Direction of Gaze Strategy to Track the Gaze of Language? Child Development, 68(1), 49-57, 1997
- Denmark, T. Do deaf children with Autism Spectrum Disorder show deficits in the comprehension and production of emotional and linguistic facial expressions in British Sign Language? Unpublished doctoral dissertation, University College London, 2011
- 藤田祐児「アスペクト障害」LD & ADHD」10, 6-7, 明治図書, 2004.
- 群馬大学手話センター「最新プロジェクティブイヤリング手話1 製作版Ver2」
- Hildner-Pric, L., & Danc, J. Thirty Years of the Annual Survey of Deaf and Hard of Hearing Children & Youth: A glance over the decades. American Annals of the Deaf, 143(2), 72-76, 1998.
- 平山康「初学聴覚障害児の発達の遅延」ミネルヴァ書房, 2002.
- 五十嵐康徳「聴覚障害児の発達と指導」コロエル社, 1993
- Knoors, H. J., & Van Balkom, M. P. J. Educational Programming for Deaf Children with Multiple Disabilities. M. A. Thesis, P. E. van der Lely, The Oxford Handbook of Sign Language, 2010 (国語学系 第二言語学専攻 史学専攻)オックスフォード・ハンドブック デフ・スタディーズ 2010年の研究 言語・教育、明石書店, 148-172, 2015
- 小林敦「東山重夫博士「シリー」を知りたか? ライフステージを見通した障害児の保育・教育」みらい, 2016
- 小山正「神工博士「自閉症スペクトラムの子どもの言語・身体機能の発達」ナカニシヤ出版, 2004
- 子安博生「心の理論」>の発達-幼少期の心の理論の働きをさぐる。日本赤十字看護学会特別講演, 2001 <https://www.crn.ac.jp/LABO/BABY/SCIENCE/NOVASY/index.html>

## <引用・参考文献(2)>

- 中野聡子「障害障害と自閉症スペクトラム障害」『手話学研究』, 25, 3-16, 2016
- Nelson, C. & Bruce, S.M. Children Who Are Deaf/Hard of Hearing with Disabilities: Paths to Language and Literacy. 2019. <https://webcache.googleusercontent.com/search?q=cache:YQ9H4M8WJhJw:https://www.mdpi.com/2221-1102/9/2/134/pdf-vert&cd=1&hl=ja&ict=cl&icq=1&ip=scienc&inst=sci>
- 日本精神科医学会監修、高橋三樹・大野裕監訳、益名伸泰他訳「DSM-5 精神疾患の診断」統計マニユアル医学書院、2014
- 岡島孝・赤堀仁嗣「文法が楽理からわかる日本語のしくみ」, 2011
- 水原純「発達障害を併せ持つ障害児と手話」『手話学研究』, 25, 31-38, 2016
- Petitto, L.A. On the arbitrariness of language and gesture: Evidence from the acquisition of personal pronouns in American Sign Language. *Cognition* 27, 1-52, 1987.
- Poizner, H., Klima, E.S. and Bellugi, U. *What the Hands Reveal/About the Brain*. Cambridge, MA: MIT Press, 1987.
- Schuler, A.L. and Pizant, B., Echolalia. In: E. Schopler and G.B. Mesibov (eds.), *Communication Problems in Autism*. 182-184. New York: Plenum Press, 1985.
- Shield, A., The signs of deaf children with autism: Lexical phonology and perspective-taking in the visual-spatial modality. Unpublished doctoral dissertation, University of Texas at Austin, 2010.
- Smith, N., Timpel, L., Morgan, G. and Wolf, B., *The Signs of a Silent Language Against the Odds*. New York: Cambridge University Press, 2011
- 菅井裕行「先天聾ろう児のコミュニケーション発達」『手話学研究』, 25, 17-30, 2016
- Wing, L., *The Autistic Spectrum: A Guide for Parents and Professionals*, 1998 [改訂版執筆、佐々木正美、清水康夫「自閉症スペクトル」-聴と専門家のためのガイドブック』東京書籍、1998]



2019年度 群馬大学公開講座  
2020年2月15日 (土) 15:00~16:20

## 様々な障害をもつ ろう者へのコミュニケーション支援 ～ろう通訳の現場から考えられること～

米国認定ろう通訳士  
川上 恵

## 今日お話しする内容

- 自己紹介
- ろう通訳の仕事
- ギャロデット大学大学院手話通訳学部
- 現場の経験から

## 自己紹介

- 沖縄県出身
- 日本財団聴覚障害者海外奨学金事業第4期生  
ギャロデット大学 ろう者学部卒業  
ギャロデット大学大学院 手話通訳学部修了
- Registry of Interpreters for the Deaf (RID)  
Certified Deaf Interpreter (CDI)  
全米手話通訳者登録協会認定 ろう通訳士

## ろう通訳者の仕事

ろう通訳者は、ろう者や難聴者、盲ろう者が用いるアメリカ手話及びその他の視覚的・触覚的コミュニケーション手段を以ってして、通訳や翻訳、言語内通訳などのサービスを提供する専門職である。ろう通訳者は、自身がろう者であるので、ろう者固有の言語、文化、人生経験を元々持っている。そのため、地域、文化、年齢、リテラシー能力、教育、階級、あるいは身体的、認知的、精神的状態などに影響される実幅広く、様々な視覚的言語やコミュニケーション形態によるやり取りを細かいニュアンスまで理解することができる。自身の人生経験に専門的な訓練が合わさることで、日常的なものから危険性が高いものまで、通訳を通してさまざまなやりとりの中で、ろう通訳者が意思疎通をうまく図ることが可能になるのである (川上訳)

引用先：全米手話通訳教育センター・コンソーシアム